

第160号

発行所：石川自治センター

発行者：石川自治センター長 矢内陽介

〒 963 - 7859

石川町字南町 36

Tel 26-1554 (FAX も同)

石川自治センター だより



石川自治協議会設立第1回グループワーク福祉について



16日石川自治センターにおいて、石川地区自治協議会設立に向けて、福祉についてのグループワークを、行政区長と福祉部会関係者による「福祉に關しての課題を上げ、その課題に対しての解決について」話し合いが行われた。区長班と福祉部会班の2班に別れワークショップ形式で行われた。

課題については、以下の通り。区長班*「サロン」予算を多く。場所がほしい。運営のアドバイスがほしい。人員の片寄り。元気なシニアが多くサロンに行きたがらない。男性の参加がない。*「高齢者の不安」緊急対応。生活者情報。組に入っていない人への

対応。見守り対象者の把握。買物にいけない。老齢女性への定期的な運動をどこかでやってくれないか。*「地域」団体の人集めが出来ない。近所であっても自分達の事を話さない。地域のつながりが薄れている。福祉班*「働く場」コロナで職を失っても石川町には働く場所が少なく就労が出来ない（特に障害者）。親の年金で生活している。子供が多く親が亡くなつた後の生活が厳しい。*「地域」コロナで集まる機会が少ないことも多いが、会員参加は多く楽しんでる。他地区に比べ行政区に入っていない人が多い。隣組なくてもコロナで一緒にやる事が減っている。気軽に話をする所や人がいない。コロナで地区の行事が出来なく隣組の付き合いがなくなってきた。一人ですんでいる人の隣での付き合いが無い人の対応をどうするのか。現在婦人会があり地区の情報等集まりの時に聞くことが出来る。*「移動手段」移動手段がない方を車に乗せるのはよほど親しい方でないとならない。運転出来なくなったら買い物や用足が不便。*「高齢者対

応。見守り対象者の把握。一人暮らしに不安。話をする人がいなくなったらと認知症への不安。一人暮らしで大変な家庭がある（草刈等）元気な高齢者の集まる場所がない。*「水害・災害」水害時避難しませんが、かと思いましたが、非難しませんでした。それ以上の強制は出来ません。災害時の避難について隣近所で話し合いが無いので、災害時にすばやく避難出来ないのではないかと心配。*「福祉サービス」地域の人が福祉サービスを知らない事が多い。*「地域の組織」地区の長寿会役員をやる人材がいなく危機状態。会員も年々減少している。地域に高齢者多く若い人達が少ない。老人会、婦人会に入る方が少ない。自分達も現在高齢者と言われる年齢になりこの協議会の存続ははたしてどうなるのか不安、誰が引き継ぐのか。

各委員からの課題は、共通認識する課題も多く、地区の高齢者や住民への思いやり等が伺えた。問題解決は、町行政他の支援、協

健康増進事業ノルディックウォーキング7月月例会in中谷 今出川の清流沿いを皆さんで歩きましょう。

1. 日時 令和4年7月23日(土) 10時~12時
 2. 場所 中谷自治センター(現地集合、現地散)
 3. 内容 今出川沿いウォーキング
 4. 講師 皆川和夫氏(インストラクター)
 5. 参加費 500円(保険料、講師交通費に充当します)
- 問合せ 石川自治センター26-1554(緑川)



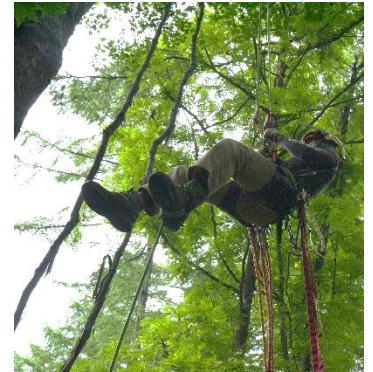
6月月例会参加の荒川さん、小針さん

力を頂き解決する。即解決出来る事は、即日行動を起こすことではないでしょうか。前回までの会議とは違い、出席者全員が意見を出し合い、問題解決へ前向きになったように思いました。今後とも宜しくお願い致します。有難うございました。

まちなか工房・寿大学・レディース学級活動報告



6月20日21日まちなか工房「つくっぺ」藤手芸教室(矢内文子講師)は、3年ぶりとなる6回目の山葡萄蔓採取移動研修を行なった。新潟県妙高市斑尾高原へ教室生徒10名、ボランティア6名外総勢18名が参加して行われた。今年は、メンバーに、伐採のプロ石川町中田、妙見林業社長三森孝浩氏に参加を仰いだ。三森氏が、ロープで木に上り山葡萄を無駄なく採取することが出来た。推定20年の幹を切り出して頂いた。ロープ1本で昇る作業に、生徒さん始めボランティアの皆さんも感心しきりで作業を見守っていた。



た。3年ぶりの山葡萄採取であったが、教室の経験者が、初参加の皆さんに丁寧に指導していた。皮がスルスル剥けることに驚きながらも楽しそうに作業に励んでいた。皮を剥いた幹の部分も、バックの取っ手等に使用するため持ち帰った。平成30年度に植栽した石川産山葡萄苗木の生育状況確認は、土砂災害等で車両通行止め箇所があり出来なかつた。採取するだけでなく、育てることを今後も継続して行きます。今年も地主さん始め採取ボランティア、三森さん、役場等関係者のご理解とご協力のおかげで教室活動の材料確保できることに生徒一同感謝申し上げます。尚、地主の木賀さんは、今年度、北海道室蘭市から参加して頂きました。有難うございました。

6月4日(土)・5日(日)2日間、石川自治センターまちなか工房5教室(藤手芸・粘土・リフォーム・手織り・ホラ造形akプロ)が、昨年に続き、福島空港ビル2階ラウンジで、教室活動で制作した作品を展示・販売。石川町のPR活動を行った。5教室が一緒に町外で活動する唯一の機会です。5教室合わせて約500点の作品を並べお客様には、制作過程や作品作り、教室活動について説明しながら接客に努めた。新型コロナウイルス感染症が減少傾向にあり、空港内も多くのお客様で賑わっていた。



レディース学級外楨(水野昭子委員長)26日、双葉郡川内村方面へものづくり移動研修を行った。佐藤俊太先生指導で、皮革細工で、日常生活出来るキーケース他作りを行った。皮なめしやハ

ハンマー使いに苦戦しながら見事に約1時間程で作品を作り上げた。



レディースきたす(竹島君委員長)は、町民グラウンドで第二回グラウンドゴルフをナイターで行った。11名が参加して行われた。涼しい中で行われ、1ホール目からホールインワンを達成するなど熱戦が繰り広げられた。ホールインワン達成者4名で6回のホールインワンが出た。



新田寿健康大学(小畑幸司委員長)は、16日新田ふれあいセンターで、個人戦2ラウンドが行われた。

7月度行事予定*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
10	日	レディース猫啼移動研修 9:30	三春町方面
14	木	レディースきたす 18:00 レディース新田 19:00	町民グラウンド 新田ふれあい
19	火	石川寿大学学習会 9:20	町内散策
21	木	新田寿健康大学 9:30 地域自治協議会設立会議 18:30	新田ふれあいセンター 石川自治センター
23	土	ノルディックウォーキング月例会 10:00	中谷自治センター
毎週土曜日まちなか朝市 7/2.9.16.23.30 朝7時始			石川自治センター

石川寿大学(鈴木芳幸委員長)は、21日立ヶ岡グラウンドで29名(女性24名・男性5名)が参加して行われた。2人1組の14チームで行われた。試合終了後は、石川寿大学恒例のホールインワン大会を行った。尚、競技成績は紙面の関係上次号へ掲載します。ご理解ください。